

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2009年12月 検針分 )

2009年7月～2009年9月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2009年12月 検針分の従量料金単価は、2009年11月 検針分に比べ、1m<sup>3</sup>(46.1MJ)当り  
1.2936円(消費税込)の値上がりとなります。

### ●従量料金単価

(消費税込)

	単位	(A) 2009年11月	(B) 2009年12月	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	211.5016	212.7952	1.2936
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	154.1506	155.4442	1.2936

従量料金単価 = 基準単位料金 + 調整額

### ●平均原料価格

	単位	2009年6月 ～ 2009年8月	2009年7月 ～ 2009年9月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	37,190	38,490	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	44,440	48,120	
平均原料価格	円/トン	37,770	39,210	48,740

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9471 + LPG平均価格 × 0.0573

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が77,980円以上となった場合は77,980円

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格

$$= 48,740 - 39,210 = 9,500 \text{ 円/トン}$$

(100円未満端数切捨て)

### ●調整額の算定について

調整額 = -0.088 × 原料価格変動額 / 100円 × (1 + 消費税率)

$$= -0.088 \times ( 9,500 ) / 100 \text{円} \times (1 + 0.05) = -8.7780 \text{ 円/m}^3$$

(小数点第5位以下端数切捨て)

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2009年11月	(B) 2009年12月	影響額 (B)-(A)
32	7,028	7,070	42